

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期美浜町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県日高郡美浜町

3 地域再生計画の区域

和歌山県日高郡美浜町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口動態は、国勢調査に基づく人口の推移を見ると、1980年から2020年までで22.2%減少している。減少率の変化を見ると、1975年から1990年までは1985年の9,042人をピークに大きな増減はないが、1990年から2020年の30年間で23%減少している。

年齢階層別の人口推移に注目すると、1980年に1,843人(20.9%)であった15歳未満の階層が2020年には690人(10.0%)と大幅に減少している。

また、15～64歳の生産年齢人口についても同様の傾向で、1980年の5,717人(64.7%)から2020年には3,611人(52.6%)へと減少している。特に15～29歳の若年者層については、1980年の1,702人(19.3%)から2020年の734人(10.7%)へと15歳未満の階層と同様に実数、構成比率ともに約半数減少している。

一方、65歳以上の高齢者の人口推移を見てみると、1980年から実数、構成比ともに増加傾向にあり、1980年は1,272人(14.4%)に過ぎなかったが、2020年には2,566人(37.4%)と大幅に増加している。

自然動態をみると、出生数は1992年の88人をピークに減少し、2025年には16人となっている。その一方で、死亡数は2025年には149人と増加の一途をたどっており、出生数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲133人(自然減)となっている。

社会動態をみると、2001年には転入者(441人)が転出者(374人)を上回る

社会増（67 人）であった。しかし、本町の基幹産業である農林水産業の衰退に伴い、雇用の機会が減少したことで、町外への転出者が増加し、2024 年▲9 人、2025 年▲1 人の社会減だったものの、2022 年▲44 人、2023 年▲72 人と減少幅が大きい。

以上のことから、特殊な人口増加をもたらす作用が働かない限り、引き続き少子高齢化が進行するものと予想される。

このまま人口減少が進行すると、経済活動やコミュニティ活動等の活力を衰退させ、安定した生活・暮らしそのものの存立を脅かす事態となることが危惧される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を基本戦略として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本戦略 1 しごとを創るまちづくり
- ・基本戦略 2 魅力を創るまちづくり
- ・基本戦略 3 笑顔を創るまちづくり
- ・基本戦略 4 未来を守るまちづくり
- ・基本戦略 5 絆を創るまちづくり

【数値目標】

5－2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030 年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内従業者数	1,734 人	1,700 人	基本戦略 1
イ	転出超過人数	9 人転出 超過	30 人転出超過	基本戦略 2
ウ	合計特殊出生率	1.03	1.50	基本戦略 3
エ	防災訓練参加者数	2,151 人	1,850 人	基本戦略 4
オ	コミュニティ助成事業活用件数	2 件	8 件(5 年間 計)	基本戦略 5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期美浜町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア しごとを創るまちづくり事業

イ 魅力を創るまちづくり事業

ウ 笑顔を創るまちづくり事業

エ 未来を守るまちづくり事業

オ 絆を創るまちづくり事業

② 事業の内容

ア しごとを創るまちづくり事業

就業への支援及び起業支援、町内資源を活かした雇用の場の創出、産業力の強化等、町内に魅力的で安定的な就業の場・機会を創出していき、ひとりでも多くの若者が美浜町で働き、暮らすことを選択しやすいようなまちづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・ 農業後継者及び新規就農者の確保対策の推進
- ・ 新規創業や第二創業への支援
- ・ 「松野菜」の一層のブランド化の促進
- ・ 生産性の向上、省力化・低コスト化の支援 等

イ 魅力を創るまちづくり事業

美浜町への定住・移住の促進、煙樹ヶ浜を活用した交流拡大、町の花「ひまわり」を活用した交流拡大、その他の美浜資源を活用した交流拡大、定住・交流拡大のためのタウンプロモーション等、集客（観光）・交流で美浜町を訪れる人を増やす取組を推進する事業。

【具体的な事業】

- ・わかやま空き家バンクへの登録推進
- ・体験型観光コンテンツの発掘・PR
- ・カナダ移民の歴史を活用した他団体との連携強化
- ・美浜町の特色を活かしたまちづくり 等

ウ 笑顔を創るまちづくり事業

各種婚活イベントに関する情報提供など結婚への支援、不妊治療に対する助成の拡充など出産への支援、子どもの居場所整備など子育てへの支援等、出産数を増やすための取組、またその前提となる結婚する人を増やしていく取組などを併せて実施する事業。

【具体的な事業】

- ・婚活イベントに関する情報提供
- ・不妊治療に対する助成
- ・地域の子育て支援体制の充実等

エ 未来を守るまちづくり事業

災害時における避難体制の強化、防災カメラの設置や住宅耐震化の促進など防災対策の強化等、美浜町に暮らす住民一人ひとりの安心と安全を創出する事業。

【具体的な事業】

- ・津波避難場所の整備
- ・防災士取得の促進
- ・耐震改修補助事業の周知・活用促進 等

オ 絆を創るまちづくり事業

親しみやすい公共施設づくりなど住みやすいまちづくり、地区コミュニティの強化や地域における住民交流の場の創設など町内交流の促進、健康増進事業の推進や健康づくり活動の推進など高齢者の健康と安全を見守るまちづくり等、住民同士の結びつきやつながりの強化を推進し、コミュニティを活性化する事業。

【具体的な事業】

- ・美浜町空家等対策計画の推進

- ・ 町民同士の交流機会の充実やボランティア活動の活性化
- ・ 高齢者福祉サービスの提供
- ・ 認知症対策の推進 等

※なお、詳細は第3次美浜創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））
4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安
50,000 千円（2026 年度～2030 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度3月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2031 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2031 年 3 月 31 日まで